

第6回統合準備委員会を開催

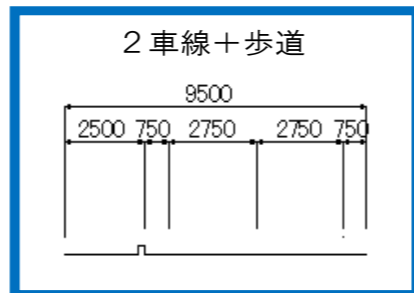
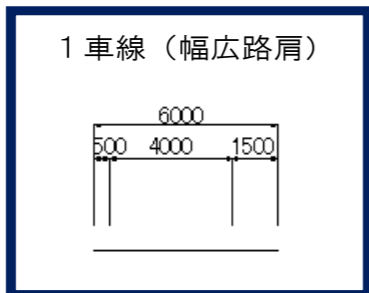
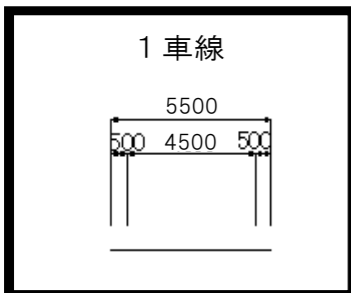
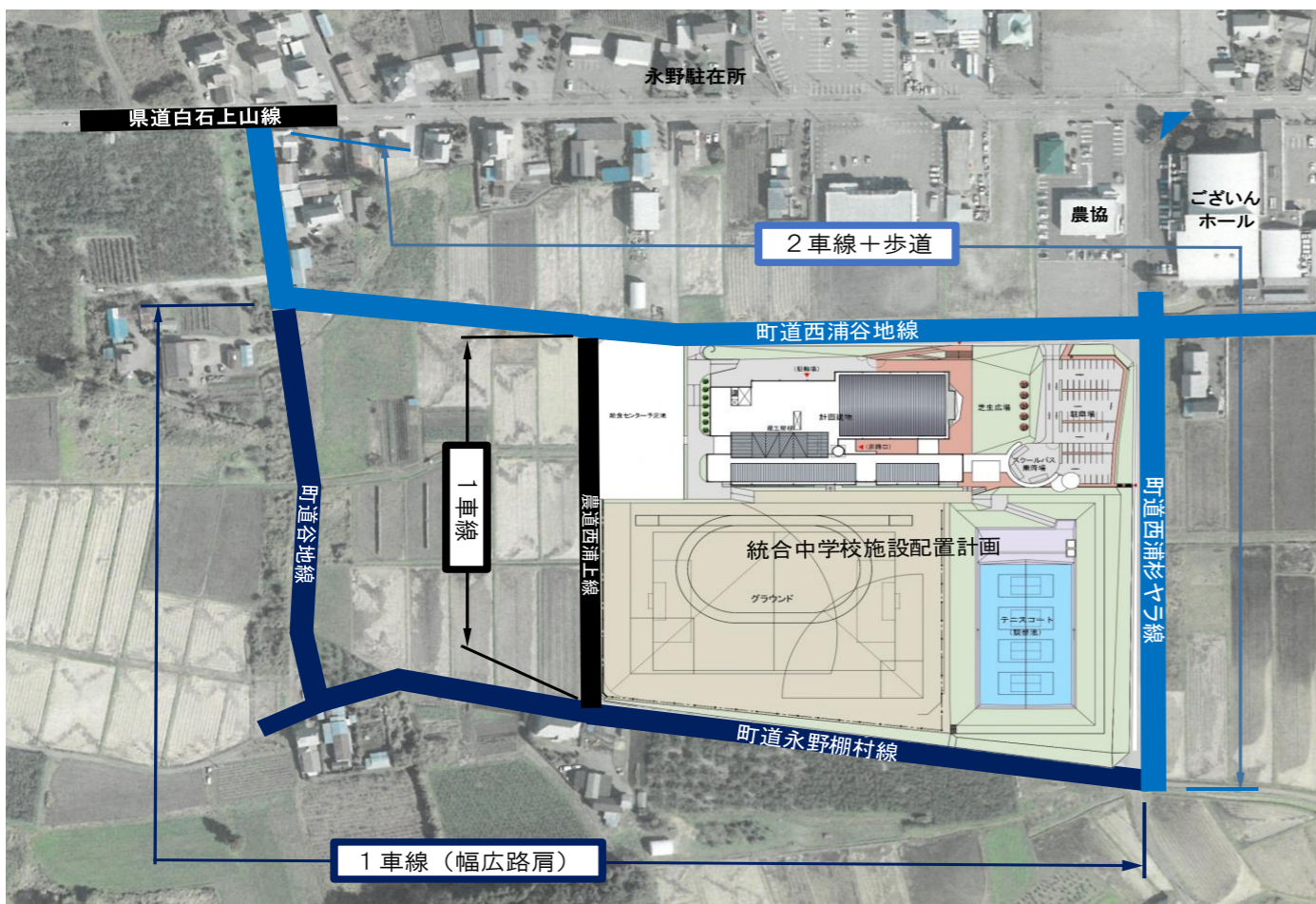
7月6日(木)午後7時から、第6回統合準備委員会が町ふるさと文化会館で開催されました。会議に先立ち、昨年度委嘱した委員に役員改選や人事異動等により変更があったので、新委員11名に文谷教育長から委嘱状が交付されました。

はじめに、事務局から現在の進捗状況の報告があった後、委員の互選により新委員長に松崎正知さん(永野小PTA会長)と新副委員長に新貝英歴さん(宮小PTA会長)を選出し、所属部会の委員構成を決めてから今後の予定を確認しました。



外周道路の整備について

統合中学校建設事業に伴い、町建設課では関連する町道拡幅を国の補助事業の採択を受け、今年度から整備工事に着手します。メインとなる町道は車道2車線に歩道を設置し、通学する生徒の安全を図ります。



円田中学校

宮中学校

遠刈田中学校

蔵王町立中学校統合準備委員会だより

～令和9年4月の開校に向けて～

発行:蔵王町立中学校統合準備委員会 編集:蔵王町教育委員会教育総務課 統合中学校準備室
電話:0224-33-3008 FAX:0224-33-2019

第6号

令和5年
10月1日
(発行)

この「蔵王町立中学校統合準備委員会だより」は、令和9年4月の統合中学校開校に向けた取組状況を保護者や地域の皆様にお知らせするものです。

校名募集の集計結果について

統合中学校の校名募集を5月15日から6月14日まで行ったところ、小学生101人、中学生192人、高校生以上74人、合計367人の皆様からご応募頂きました。どうもありがとうございました。ご応募頂いた校名は下表の通りとなっておりますが、今後、選考要領に沿って選考作業が進められ、今年12月の町議会で正式に決定される予定です。

応募数が多かった校名								
区分 順位	全体		小学生		中学生		一般(高校生以上)	
	校名	応募数	校名	応募数	校名	応募数	校名	応募数
1位	蔵王	83人	蔵王	21人	蔵王	51人	蔵王	11人
2位	永野	25人	永野	17人	永野	8人	宮城蔵王	4人
3位	青麻	15人	青麻	9人	水泉	4人	青麻	4人
4位	桃花	5人	ございん	3人	遠円宮	3人	桃花	4人
5位	宮城蔵王	4人	ざおう	2人	刈田王	3人	秀峰	3人
6位	松川	4人	桜	2人	刈田郡	3人	松川	2人
7位	水泉	4人	蔵王中央	2人	蔵王統合	3人	46案 × 1人ずつ	
8位	ございん	3人	田畑	2人	緑	3人		
9位	ざおう	3人	統合	2人	円宮遠	2人		
10位	円宮遠	3人	41案 × 1人ずつ		刈田	2人		
11位	遠円宮	3人			刈田峰	2人		
12位	刈田	3人			御釜	2人		
13位	刈田王	3人			自然	2人		
14位	刈田郡	3人			星蘭	2人		
15位	桜	3人			青麻	2人		
16位	秀峰	3人			翔	2人		
17位	蔵王統合	3人			98案 × 1人ずつ			
18位	統合	3人						
19位	緑	3人						
20位	14案 × 2人ずつ							
21位	163案 × 1人ずつ							
計		367人		101人		192人		74人

※なお、応募のあったすべての校名は、町ホームページ(教育委員会)でご覧になれます。

統合中学校建設の概算総事業費を見直しました。

8月28日(月)に蔵王町議会議員全員協議会が開催され、統合中学校建設の概算総事業費の見直しについて説明をいたしましたので、その内容を皆様にご報告いたします。

統合中学校建設事業費の算定に当たっては、令和3年3月に作成した施設整備基本計画書に記載されている概算事業費は、令和2年度の労務・資材設計単価を基に各工事費を算出しておりました。その後、基本計画策定から2年が経過し、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格の上昇や円安の加速により建設資材価格や労務費等が急激に高騰して、土木や建築の工事単価は令和3年5月から令和5年5月までの2年間に15%近く上昇しております。そこで、工事費等を見直したほか、造成工事にあつては計画内容に変更が発生したため工事費が増額となっておりますのでご理解いただきたいと存じます。

1. 統合中学校建設の概算総事業費

項目	事業内容	金額(億円)			増加した理由
		基本計画	R5時点修正	増減	
1. 建築工事	校舎、体育館、武道場	22.31	25.50	+3.19	①建築工事について 最近の物価高騰により、建築工事費単価が基本計画時と比較すると14.3%上昇しているため、工事費を見直しました。
2. 外構工事	・建物外構 (側溝、フェンス、舗装、植栽外) ・東側駐車場	0.86	1.28	+0.42	①建物外構工事について 建築工事と同じく工事費単価の上昇分14.3%を考慮し見直しました。 ②東側駐車場工事について 敷地東側の町道拡幅工事の残地は、今後スクールバス及び学校行事用の臨時駐車場として利用するため、舗装工事費を追加しました。
3. 造成工事	・敷地造成 ・防災調整池 ・付替え水路	2.34	8.50	+6.16	①盛土工事について 敷地の造成盛土には、仮置きしてある県の松川河川工事残土の割石を利用するため、割石の3分の1の量を現場に破砕機を設置して細かく砕き、割石に混ぜて転圧し直す工事が必要となりました。 ②防災調整池について 1ヘクタール以上の土地造成をする際、県から設置が義務付けられている防災調整池の貯水容量は、造成する土地の地形分類で1ヘクタール当たりの単位流出抑制容量が決まりますが、基本計画時は「平地部の750m ³ 」で考えていましたが、県との協議の結果「丘陵部の1,260m ³ 」となったため、貯水容量が3,560m ³ から5,860m ³ に増えたことと、調整池のダム断面見直しでサイズが大きくなったことなどにより、ダム築造用の購入盛土材が大幅に増大して工事費が増加しました。 ③付替え水路について 造成地の真ん中を3本の農業用水路が流れておりますが盛土工事により分断されるため、敷地南側水路に幅50cmのコンクリート側溝を整備して付替える計画でしたが、水路流域の降雨時の集水区域の流量を計算したところ側溝の幅が1m必要となったため、工事費が増加しました。
4. 屋外運動場工事	グラウンド	1.84	2.50	+0.66	①工事費算定について 基本計画では、施工事例を参考に概算工事費を算定していましたが、実際に工事費を積算したことなどにより増加しました。
5. 委託費	調査、設計、工事監理、事業支援	2.39	3.34	+0.95	①共通事項について 基本計画では、他事業事例を参考に概算を算定していましたが、実際に業務費を積算し発注したことなどにより増加しました。
6. 用地費		2.41	2.76	+0.35	①土地の追加について 防災調整池の計画見直しにより令和4年度に追加買収しました。
7. 備品等	・スクールバス ・一般備品	0.54	2.10	+1.56	①スクールバスについて 基本計画では、マイクロバス3台を購入し送迎する計画でありましたが、通学計画の見直しにより乗車人数が増え中型バス5台に計画を変更しました。 ②一般備品について 基本計画では、特別教室等の大型備品は既存校のものを極力再利用する計画でしたが、給排水設備やガス管などの接続があるため、建築工事の施工に合わせて設置するので、既存校で利用中に取り外すことはできないことなどの理由から増加しました。
概算事業費 計		32.69	45.98	+13.29	

2. 関連事業費

項目	事業内容	金額(億円)			増加した理由
		基本計画	R5時点修正	増減	
1. 町道拡幅工事	西浦谷地線、西浦杉ヤラ線、永野棚村線、谷地線	3.68	4.29	+0.61	最近の物価高騰により土木工事費単価が上昇しており、計画時の工事費を見直しました。
2. 上下水道工事	水道管、下水道管	1.32	1.50	+0.18	最近の物価高騰により土木工事費単価が上昇しており、計画時の工事費を見直しました。
関連事業費 計		5.00	5.79	+0.79	